

【NEWS RELEASE】

2020年9月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

学校法人郁文館夢学園に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、学校法人郁文館夢学園（理事長：渡邊 美樹）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、学校法人郁文館夢学園については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

夢教育・体験型教育を通じた、社会課題解決型思考・行動力のある人材の育成

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
目標 10 人や国の不平等を なくそう	ターゲット 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

「SDGs 委員」等を通じた持続可能な開発への理解促進・学内外におけるパートナーシップの推進

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
目標 17 パートナー シップで目標を 達成しよう	ターゲット 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



新聞教育で社会問題の関心を高めます



校舎屋上も環境を学ぶ重要な場です



SDGs 実践教育日本一を目指します

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットの事です。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。